



Nissan Chemical
CORPORATION

未来のための、はじめてをつくる。

第154回 定時株主総会





報 告 事 項



国内景気

円安を追い風とするインバウンド需要増加

年度前半

個人消費や自動車の輸出が回復基調

期 末

個人消費低迷および自動車減産



国内景気 回復は限定的

化学品 セグメント

基礎化学品
ファインケミカル ともに減収

機能性材料 セグメント

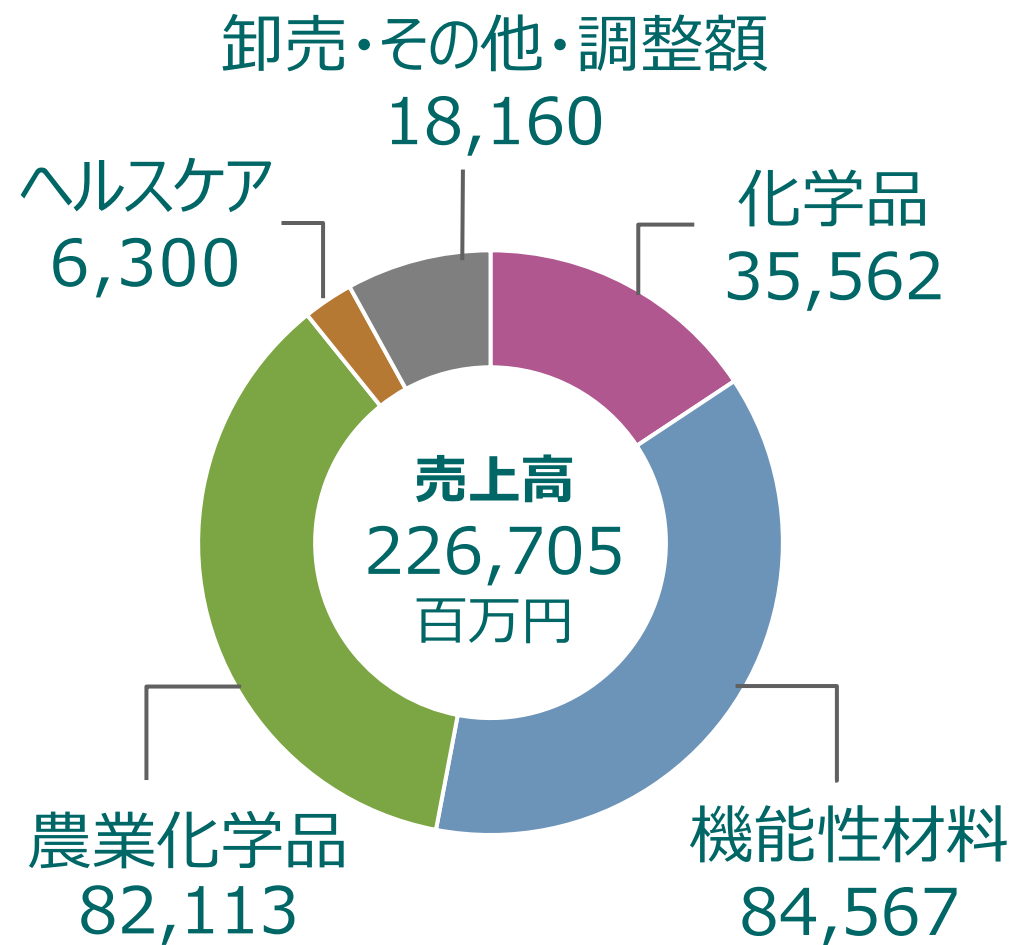
半導体材料 減収
ディスプレイ材料 好調

農業化学品 セグメント

増収

ヘルスケア セグメント

減収

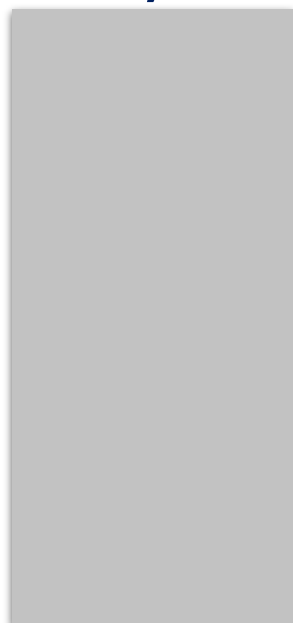


売上高

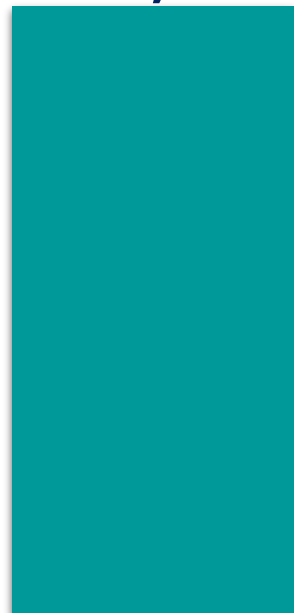
2,267億5百万円

単位：百万円

228,065



226,705



2022年度

2023年度

前期比

13億60百万円減

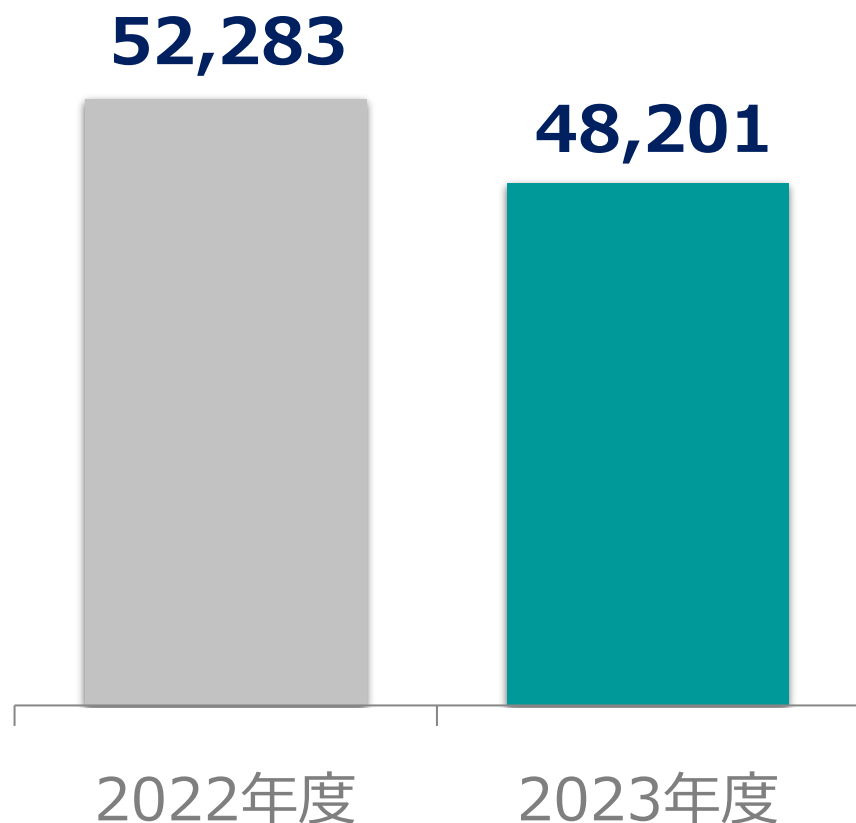
0.6%



営業利益

482億1百万円

単位：百万円



前期比

40億81百万円減

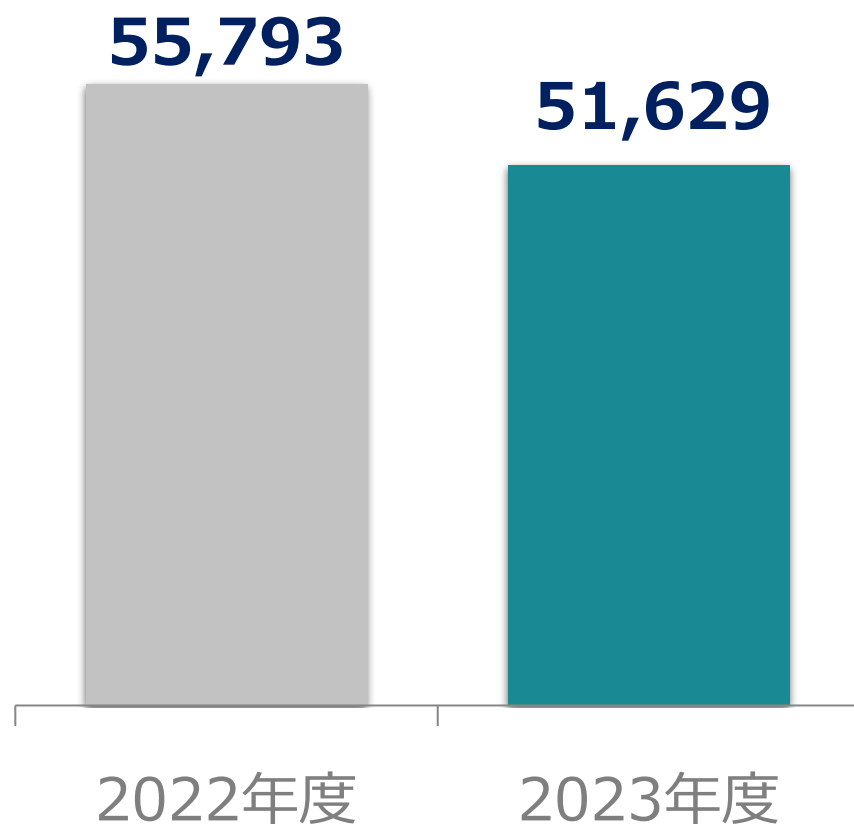
7.8%



経常利益

516億29百万円

単位：百万円



前期比

41億64百万円減

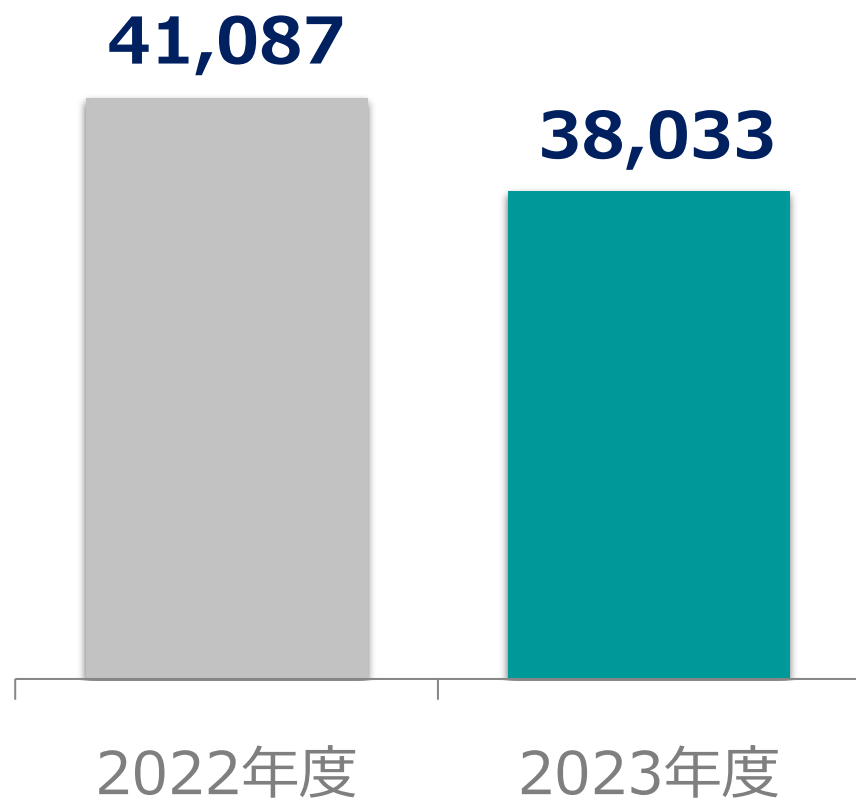
7.5%



親会社株主に帰属する
当期純利益

380億33百万円

単位：百万円



前 期 比

30億53百万円減

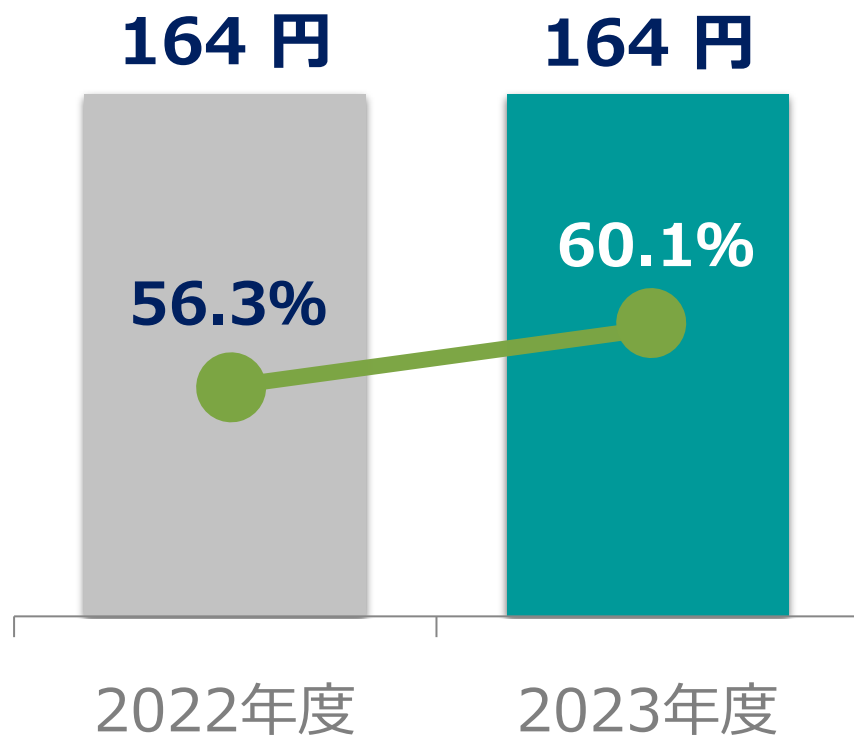
7.4%



年間配当金

1株につき 164円 (予定)

—●— 配当性向



前期比
同額



売上高営業利益率

21.3%

1.6ポイント↓

自己資本当期純利益率(ROE)

17.1%

2.3ポイント↓

1株当たり当期純利益(EPS)

272.82円

18.54円↓

化学品セグメント

基礎化学品

硝酸製品(金属溶解・表面処理剤等) 増収
メラミンが構造改革に伴う販売終了により減収

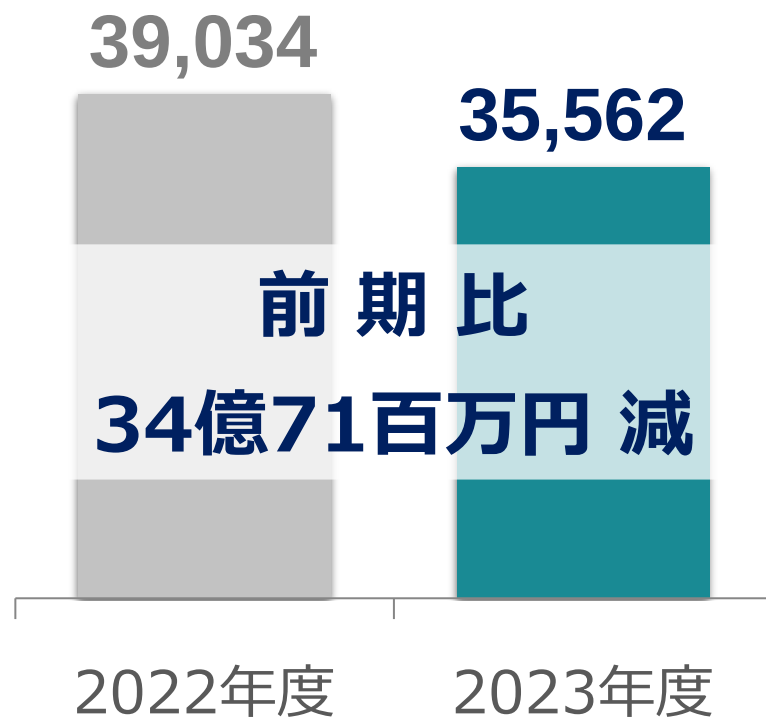
ファインケミカル

環境化学品(プール・浄化槽用殺菌・消毒剤等)と
「テピック」(粉体塗料硬化剤・封止材等)が
市況下落の影響を受けて減収



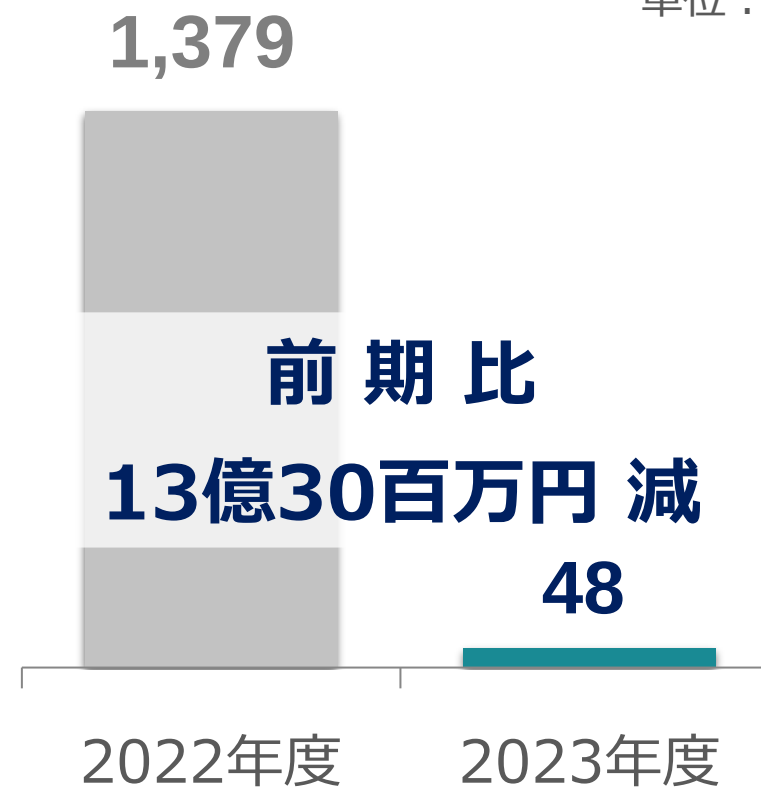
売上高 355億62百万円

単位：百万円



営業利益 48百万円

単位：百万円





機能性材料セグメント

機能性材料セグメント

ディスプレイ材料

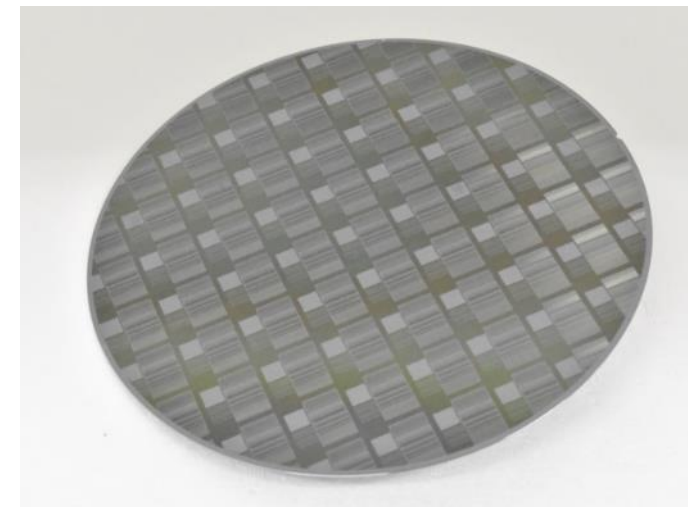
「サンエバー」(液晶配向材用ポリイミド) 増収

半導体材料

半導体用反射防止コーティング材
および多層材料が顧客の稼働低調を受けて減収

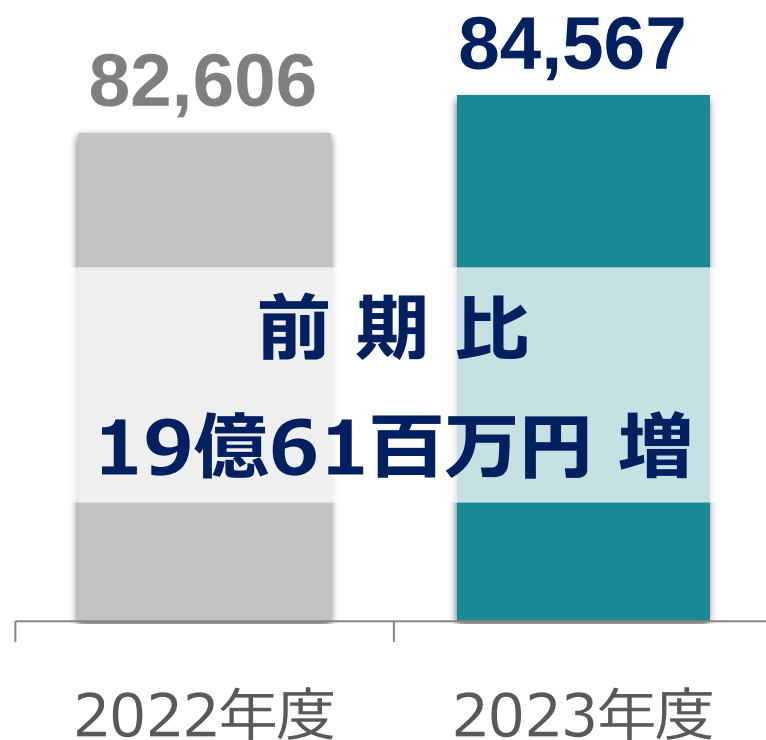
無機コロイド

「スノーテックス」(電子材料用研磨剤・各種表面処理剤等)や
オイル&ガス材料(シェールオイル・ガス採掘効率向上材) 減収



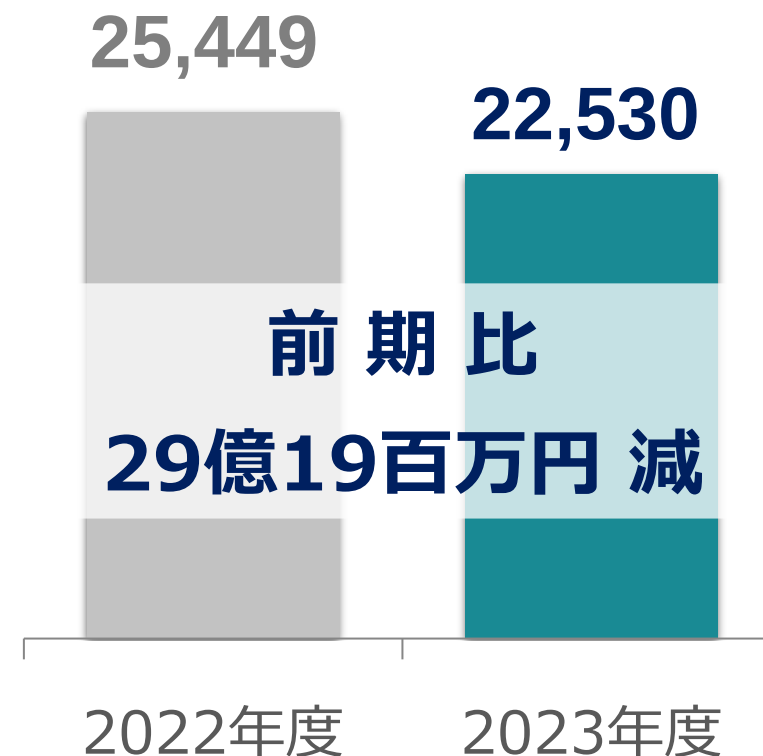
売上高 845億67百万円

単位：百万円



営業利益 225億30百万円

単位：百万円



農業化学品セグメント



農業化学品セグメント

動物用医薬品

フルララネル(動物用医薬品原薬) 増収

国内農薬

「グレーシア」(殺虫剤) 堅調

「ラウンドアップ」(非選択性茎葉処理除草剤) 減収

海外農薬

「グレーシア」伸長

「ライメイ」(殺菌剤) 減収

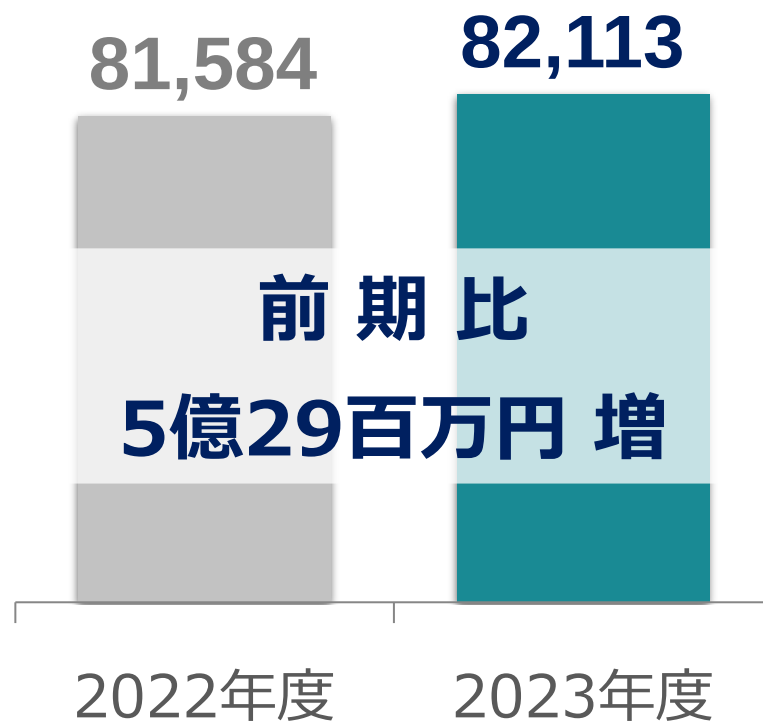




農業化学品セグメント

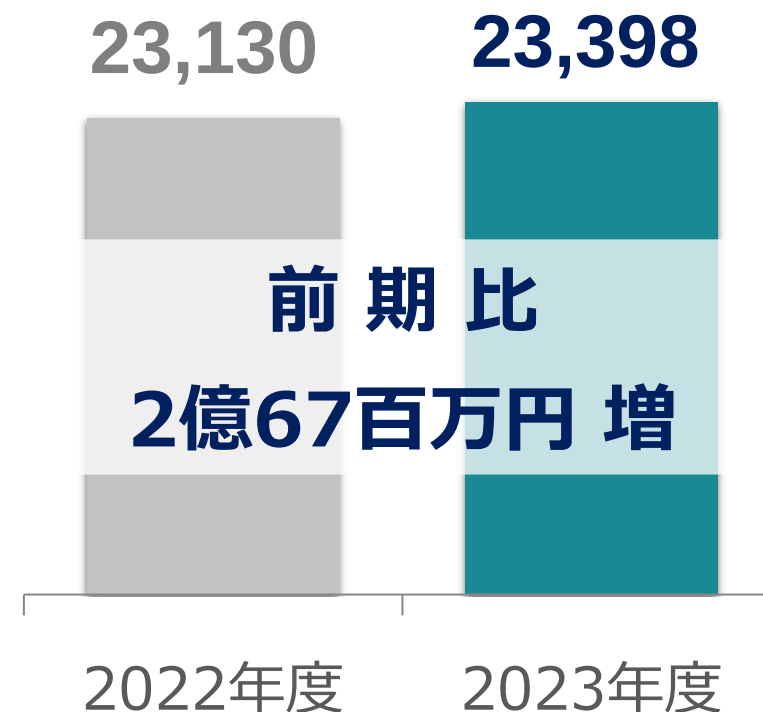
売上高 821億13百万円

単位：百万円



営業利益 233億98百万円

単位：百万円



ヘルスケアセグメント



ヘルスケアセグメント

創薬

「リバロ」(高コレステロール血症治療薬)原薬
海外向けを中心に減収

ファインテック

ジェネリック原薬 減収



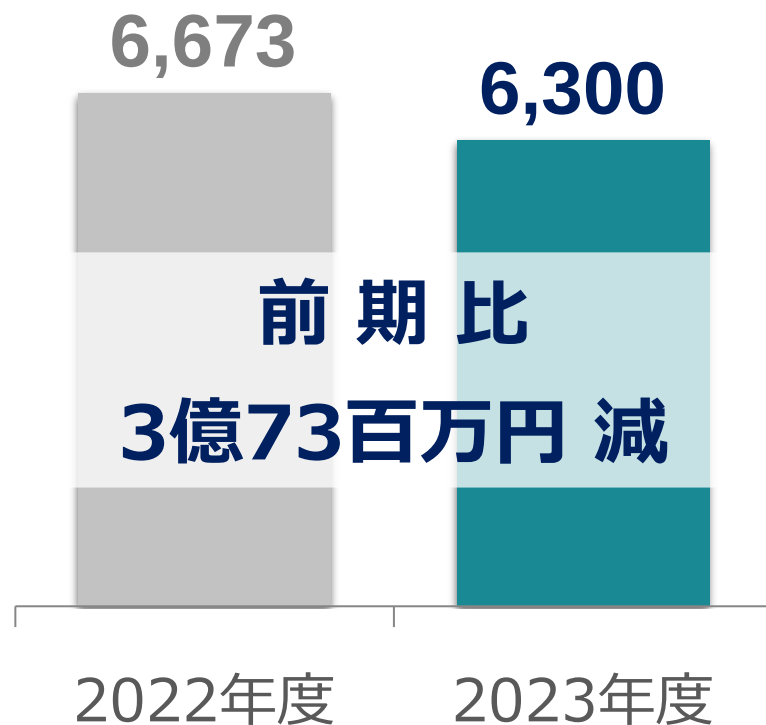


ヘルスケアセグメント

売上高

63億円

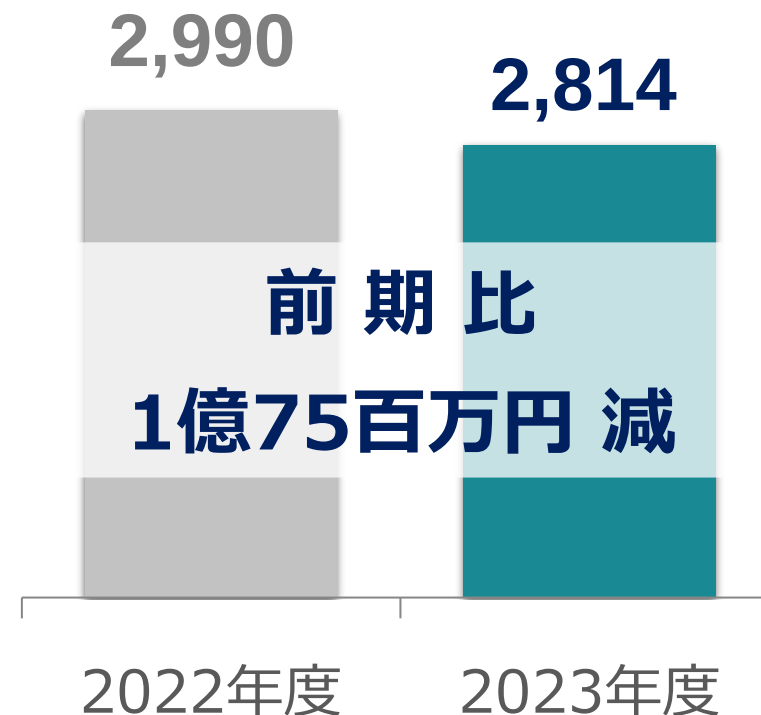
単位：百万円



営業利益

28億14百万円

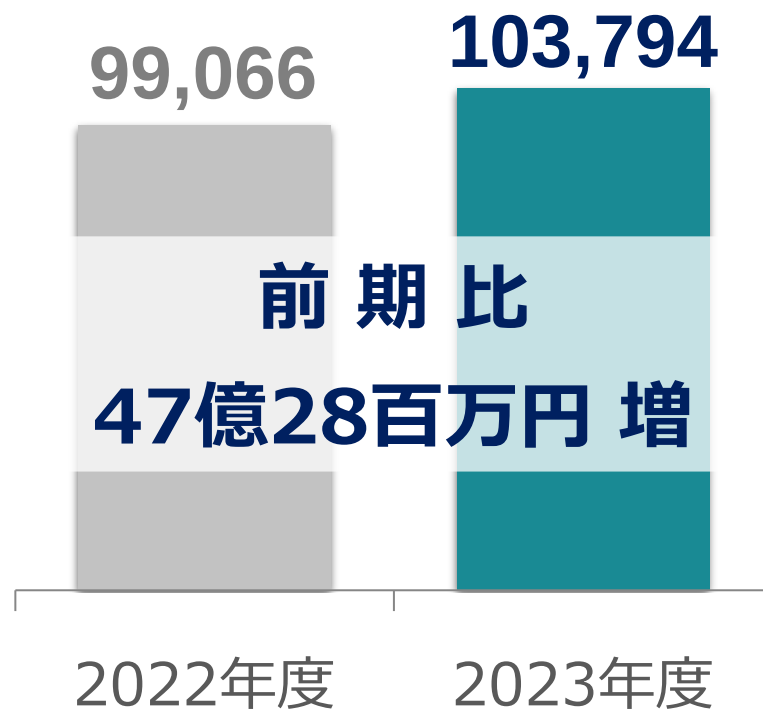
単位：百万円



卸売セグメント

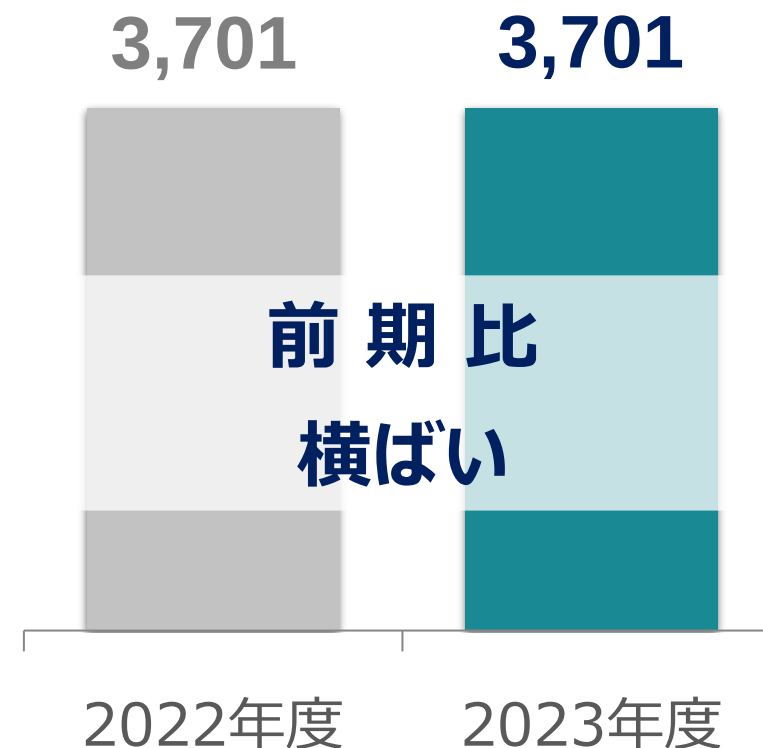
売上高 1,037億94百万円

単位：百万円



営業利益 37億1百万円

単位：百万円



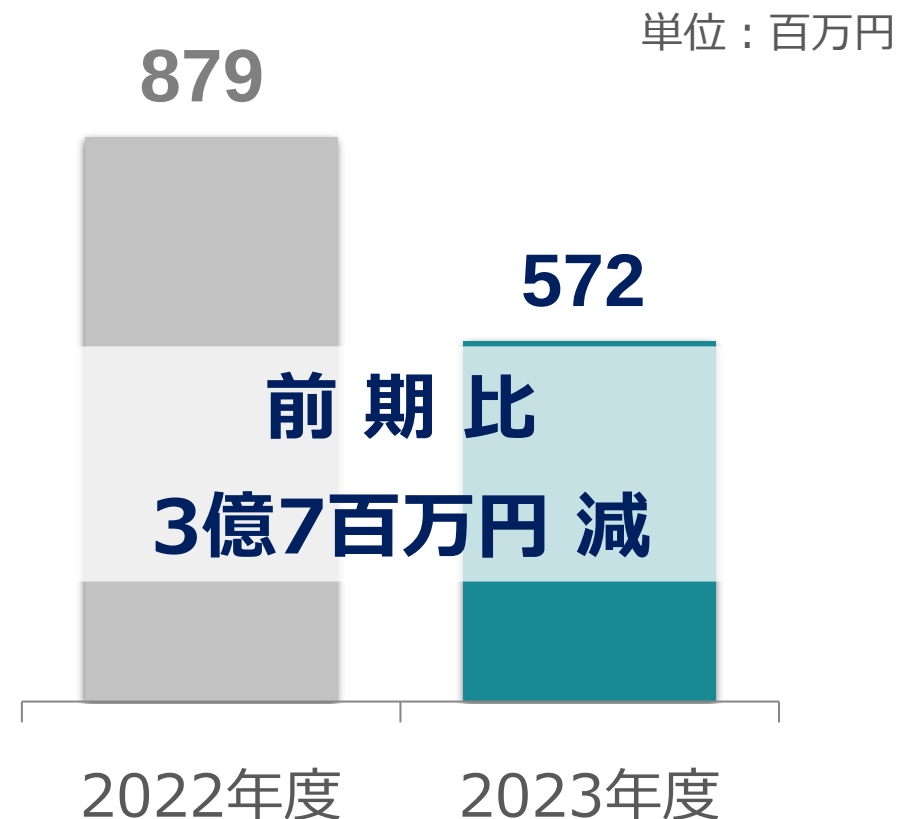
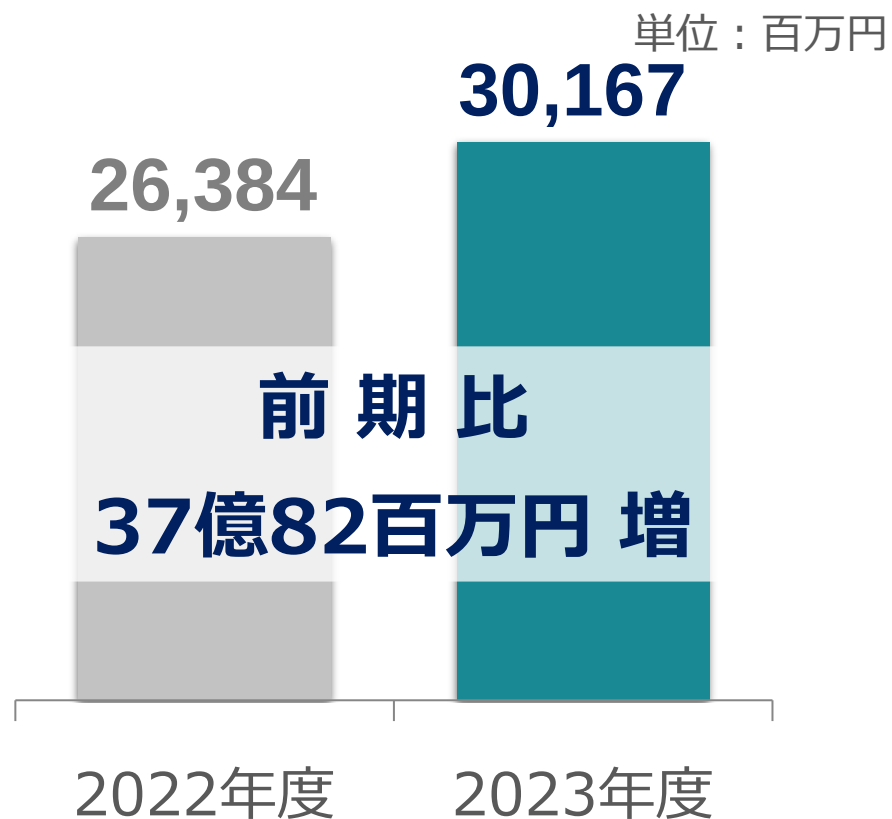
その他のセグメント



その他のセグメント

売上高 301億67百万円

営業利益 5億72百万円





対処すべき課題

2050年に視座を高めた
長期経営計画

「Atelier2050（アトリエ2050）」

通過点となる2027年の姿を示す
中期経営計画

「Vista2027」

社会が求める価値を提供し、
地球環境の保護、人類の生存と発展に貢献する

社会課題の解決と
持続可能な発展を強く意識した
企業価値向上

環境との調和を図りながら
人々の豊かな暮らしと幸せの実現

課題

新製品開発の更なる強化 事業計画の精緻化 業務効率の改善・強化

基本戦略

事業領域の深掘りと
マーケティング力の向上

サステナブル経営の推進

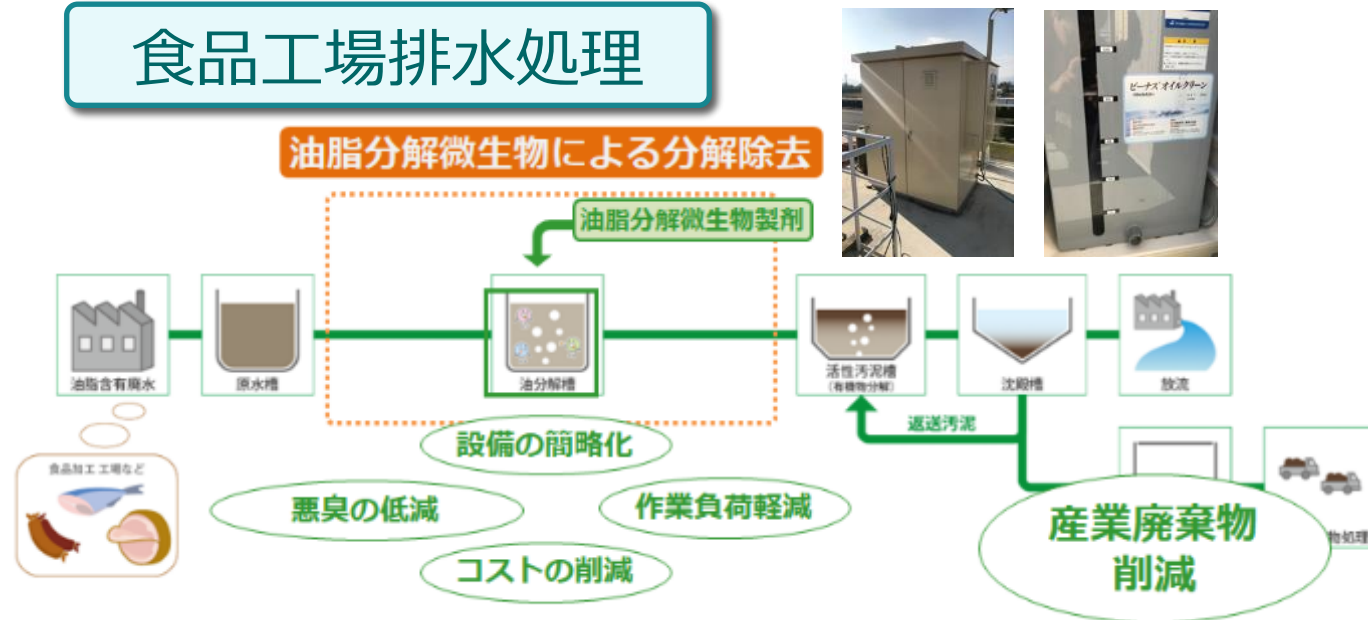
価値創造・共創プロセスの強化

現有事業のシェア・利益の拡大

微生物製剤「ビーナスオイルクリーン」の採用拡大・新用途展開

食品工場排水処理（油脂分解） 向け複数社で採用済
油脂分解用途以外への提案開始

食品工場排水処理



不溶物質の分解効果



油脂以外（油脂や有機物が固形化した
オイルボールや微生物の死骸などの不
溶物質）の分解を確認

二次電池向け材料の開発

電気自動車向け二次電池の構成材料として当社製品の採用決定



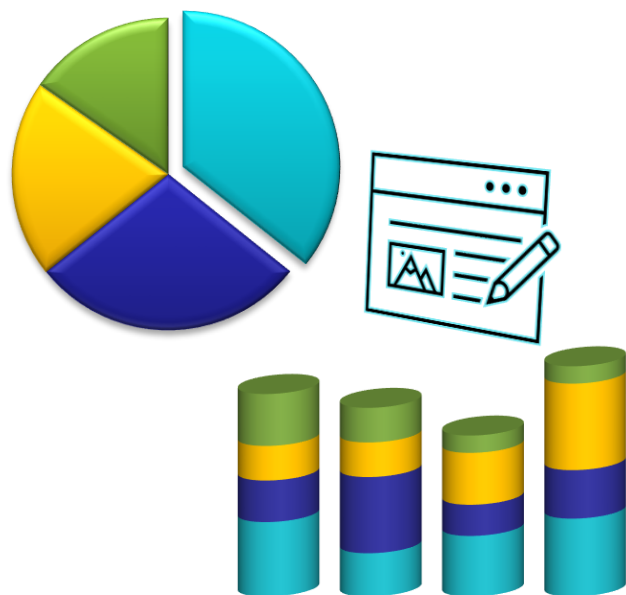
温室効果ガスの排出量削減に向けた取り組み

管理会計や設備投資計画における
社内炭素価格(インターナル・カーボンプライシング)
の活用



サステナブル調達に向けた取り組み

サプライヤーに対するアンケート調査実施
当社基準未達企業への改善協力依頼



人的資本経営の拡充に向けた取り組み

キャリア対話

人材開発会議

10% Challengeの導入



化学品
セグメント

高純度硫酸

製造設備の増強工事が順調に進捗 拡大する需要を取り込むための体制づくり



機能性材料
セグメント

ディスプレイ材料

スマートフォン・IT・車載向けで
光IPS式液晶配向材用ポリイミドの高シェアを堅持



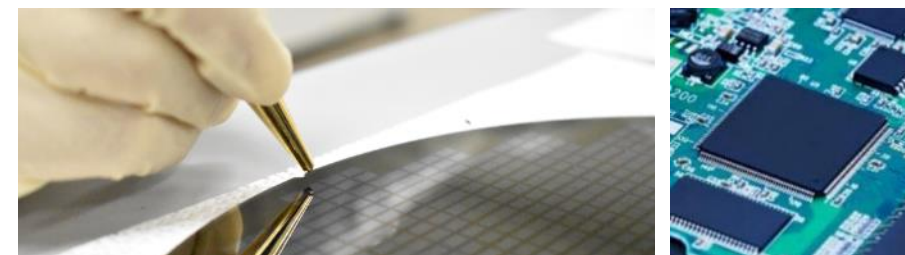
機能性材料
セグメント

半導体材料

韓国子会社NCKの第2 製造拠点完成



顧客承認用製品の製造開始



基本戦略 4「現有事業のシェア・利益の拡大」

農業化学品
セグメント

インド子会社
Nissan Bharat Rasayan

殺菌剤「ライメイ」・殺虫剤「グレーシア」
原体出荷開始



農業化学品
セグメント

小野田工場

新規水稻用除草剤「ベルダー」原体の製造設備完工



ヘルスケア セグメント

原薬製造に向けた協業先との技術協力合意 核酸創薬の戦略的提携

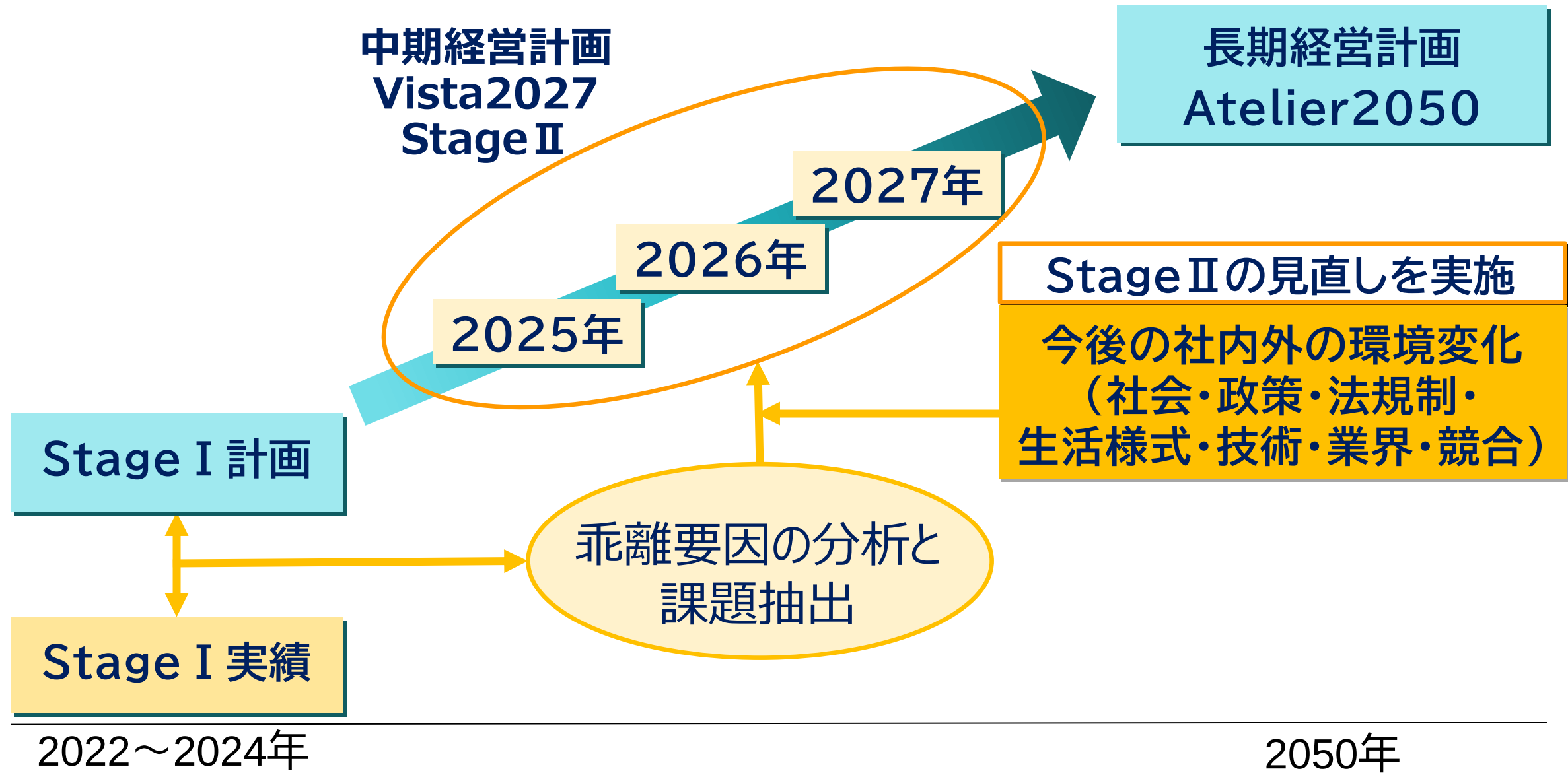


財務指標

	2023年度 (中計)	2023年度 (実績)	
売上高営業利益率	20%以上	21.3%	達成
ROE	18%以上	17.1%	未達
配当性向	55%維持	60.1%	達成
総還元性向	75%維持	86.2%	達成

収 益

	2022年度 (実績)	2023年度 (実績)	
売上高	2,281	2,267	前期比減収
営業利益	523	482	前期比減益



社会が求める価値を提供し、
地球環境の保護、人類の生存と発展に貢献する

新製品創出

事業拡大

経営の健全性と透明性の向上

コンプライアンスの徹底

経営意思決定の迅速化

リスク管理や内部統制システムの強化

すべてのステークホルダーから信頼される企業グループの実現



Nissan Chemical
CORPORATION
日産化学株式会社